

神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

- 【岡田ゆうじプロフィール】 ●1978年6月25日生まれ
●慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
●国会議員政策担当秘書資格試験に合格 ●参議院議員末松信介政策担当秘書
●2017年選挙にて27,279票を得て初当選（現在2期目）

2019.11

No.19

東須磨小問題

東須磨小学校の20代男性教員が、同僚の先輩教員4人に暴行や暴言などのいじめ・暴力行為を昨年から継続的に受けていたことが、10月に入り、明らかになりました。加害教員らは男性教員を羽交い締めにして激辛カレーを目にこすりつけるなどしたほか、男性教員の車を傷つけ、LINEで第三者にわいせつな文言を無理やり送らせることなどを強要していました。また、コピー用紙の芯で尻をたたいて腫れさせ、「ボケ」「カス」といった暴言を頻繁に浴びせてかけたりなどもしています。

別の20代の男女の教員に対し、性的な行為を行なうよう命じ、その結果を報告するよう強要していたことなども報道されています。

男性教員は精神的に不安定になり、今年9月から休暇による療養を余儀なくされています。

一連の行為について、同校の管理職は今年6月ごろ、別の複数の教員からの相談をきっかけに把握し、加害側の教員を指導したものの、教育委員会に対しては「人間関係のトラブル」などと報告したのみで、何ら対策を行おうとしませんでした。

9月になって、被害教員の家族から連絡を受け、教育委員会はようやく事実関係の調査を始めました。

私は文教子ども委員会の副委員長として、この問題発覚当初より、教育委員会に早期の事実関係の解明と公開を求めるとともに、各種のメディアで、職員室の中に、権力を持つ加害教員と、虐げられる被



顔にカレーを塗りつけられた被害教員
(c) 関西テレビ

害教員との身分制、いわば「ティーチャーカースト」のようなものがあると指摘してきました。その背景には、各校の校長同士が話し合っ
て各校の教員人事を決定し、教育委員会は人事権を持たず、ややもすれば「校長のお気に入り」ばかりを集める「連署内申方式」、通称「神戸方式」があります。

私はこの神戸方式を廃止し、教育委員会が各校へのガバナンスを強化して、職員室の「無法化」「治外法権化」を防ぐよう求めて参りました。その結果、10月11日日本会議場において、教育長は神戸方式の廃止を明言しました。また、加害教員が行なった数々の暴力行為は、もはや「いじめ」「ハラスメント」の範疇を超えた犯罪行為です。そこで同日、私は須磨警察署の幹部と面会し、加害教員4名の刑事告発を行うため必要書類を提出しました。

しかし、ほぼ同時刻に被害教員の関係者が、被害届の提出のために警察を訪ねておられたため、まずは被害者本人の訴えを優先して欲しいとの思いより、刑事告発は一旦取り下げました。今後兵庫県警によって、徹底した真相究明と処分が行なわれることを期待したいと思います。

17日に緊急開催された市会文教こども委員会では、東須磨小の前校長（現在別の



10月11日、加害教員らの刑事告発のため
須磨警察署幹部と協議



各種メディアで「ティーチャーカースト」の存在が原因であると訴える (c) フジテレビ「とくダネ！」

市立小学校の校長) が種々のパワハラ行為を行い、複数の通報があったにもかかわらず何も対処をせず、放置をした教育委員会に批判が集まりました。

また、前校長は何故か東須磨小の校長に就任してからたった一年で別の学校へ転勤。神戸市の校長職は平均3.3年務めますので、明らかに異常な人事です。

同委員会において、加害教員の加害行為の全貌を明らかにするとともに、歴代校長の責任追及・真相解明も、しっかり果たして参ります。



子どもたちの教育環境と安全を全力で守る！

神戸市議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20
TEL : 090-9107-0622 / FAX : 078-330-2335

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayu.ji.net
www.okadayu.ji.net

